



ビジネストーク

「成長支援」

頭取 大道 良夫

はや3月、皆さまにおかれましては昨年度の成果と反省を踏まえ2015年度の事業計画策定を進めておられることと存じます。

当行も1月に、昨年の業績をまとめ、新年度の計画策定に取り組みました。3四半期を振り返りますと、新しい商品サービスの創出で業務内容が一段と多彩になり、従来の「再生支援」から「成長支援」への変化を改めて実感しました。

中小企業向け貸出残高や先数の増強はもちろんです。医療介護分野や太陽光発電事業など成長分野への融資が増加しています。アグリ分野に関しては、「ぐるなび」とのビジネスマッチング、滋賀県農業信用基金協会保証による「アグリビジネスローン」、「6次産業化ファンド」の活用など多様な取り組みを行っています。

ニュービジネス支援では、当行が従来から取り組んでいる「ニュービジネスサポート資金」に加え、REVIC（地域経済活性化支援機構）と共同出資した「しがぎん成長戦略ファンド」による投資、また、2月号本欄で紹介した「クラウドファンディング」の手法を用いた「滋賀の魅力発信ファンド」（本年2月2日付で「しがぎんふるさと投資ファンド」を新たに設立）などに取り組んでいます。

海外事業展開支援では、JBIIC（国際協力銀行）との現地通貨建て協調融資も成果を上げて

います。

さらに多様な金融手法の提供では、「電子記録債権」の利用促進、大規模プロジェクトでシンジケートローンやPFI（民間の経営能力を活用しての公共事業の展開）案件のアレンジャー、エージェント等を務めています。

また、「滋賀健康創生特区利子補給金制度」や、PLB資金に対する「環境省利子補給活用プラン」は、ご利用先に大好評です。さらには、昨年11月から取扱いを開始したCSR私募債「つながり」にも多数申し込みをいただき、早くも複数の学校へ図書やスポーツ用品などを寄贈いたしました。

他にも金融コンサルティング機能を発揮した事業継承資産承継対策のご相談受付やビジネスマッチング、2014年度の補正予算による「ものづく補助金」「創業・第二創業促進補助金」「ふるさと名物応援事業」などへの募集開始に合わせた速やかなご案内など、さまざまなメニューを取りそろえています。

湖国では、他にはない魅力的な地域資源や強みを生かした産業育成、雇用創出、若者の地域定着を願う地道な取り組みが始まっています。当行も政府の「地方創生」と平仄を合わせ、創意工夫を凝らすなかで、地域社会の「成長支援」に一層努めてまいります。